

—わが国唯一の橋の専門新聞—

橋梁新聞

SINCE1973

発行所
橋梁新聞社

郵便振替口座 00150-2-48179
東京都台東区入谷1-6-6
〒110-0013 電話03(3876)1451
FAX03(3876)1458

第1297号

2016年 11月11日
(平成28年) 金曜日

昭和51年5月19日第三種郵便物認可
購読料/年間88,000円・半年46,000円(税別)
発行日 1・11・21日
発行兼編集人 澤田繁男
編集長 根津寿子

www.kyoryoshimbun.co.jp

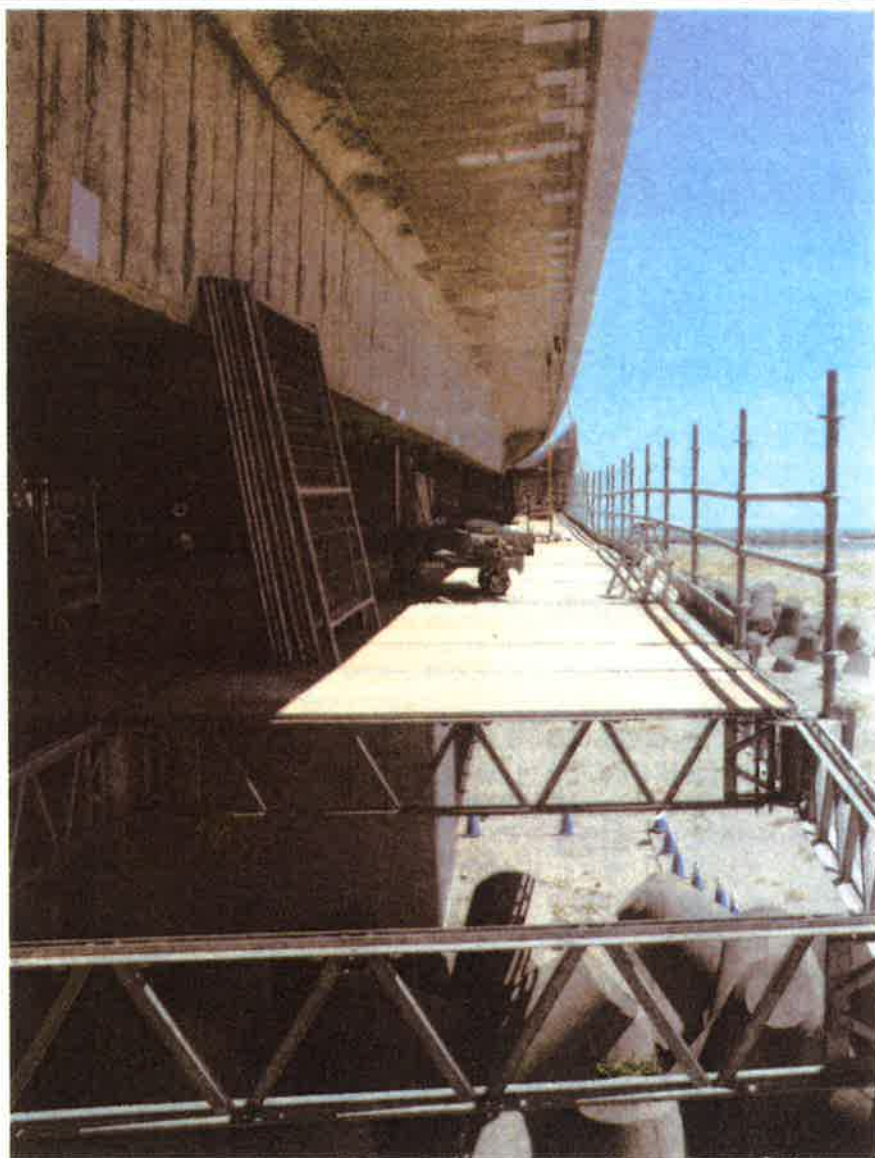
日綜産業は10月28日、静岡県湖西市の国道1号新居高架橋において、新型吊足場クイックデッキの現場見学会を催した。新居高架橋は浜名湖の

西側、浜名大橋につながる橋長483mの5径間連続PC箱桁橋×3連。浜松河川国道事務所が発注した平成27年度1号掛川浜松維持管内橋梁補修

工事において、中村建設が断面修復、剥落防止工、排水管交換、支承防錆工事などを行っている。クイックデッキは補修工事の吊足場として今

新居高架橋見学会

クイックデッキ 3600²m使用



新居高架橋では補修足場にクイックデッキを採用



回3600平方mが使用されている。現場が砂地のため高所作業車が入れず、吊足場が採用された。施工にあたった東海アーバン開発の阿部孝機材

センター所長は「システム化された吊足場で熟練工でなくても安心安全に足場を設置解体できる。吊チェーン間隔も広く作業性が高い。今後にも必要素材」と話す。また、吊足場のアンカーには次回の橋梁点検時にも使用するため、6径間分600本のステンレスアンカーを使用されている。